

FEMLEEG バージョン 4.1 リリースノート(2010/06/01)

【ダイジェスト】

複数回アンドウ・リドゥ機能の追加(FEMIS,FEMOS)

- 従来、1 回だったアンドウ・リドゥが複数回、行えるようになりました。

分布バネ拘束の設定(FEMIS)

- 要素面に設定された分布バネ拘束を、節点バネ拘束に変換して設定する機能が追加されました。

CAP(CutAndPaste)解析機能の追加(LISA)

- 構造モデルを都合のいい面で切断(Cut)し、分断した構造ごとに独立してメッシュを作成、結合(Paste)したモデルを解析できる機能が追加されました。

固有振動解析の計算手法にランチョス法が追加されました。(LISA)

- 大規模モデルで解析時間が大幅に短縮(約 1/3~1/4)されます。

複数ケースモデルの単一ケース読み込みの高速化(FEMOS)

- 複数ケースモデルで、単一ケース指定の読み込みが高速化されました。

アニメーション作成の高速化(FEMOS)

- アニメーション作成処理が高速化されました。

Windows7 に対応

【FEMIS】

■複数回アンドウ・リドゥの機能が追加されました。

- ツールバー／ToolBox のボタンにマウスカーソルを合わせるとアンドウ・リドゥされる項目が表示されま
す。
- アンドウ・リドゥのメニューにもアンドウ・リドゥされる項目は表示されます。
- アンドウ・リドゥの回数はユーザーが自由に設定できます。(デフォルトは 10 回)

■要素面に設定された分布バネ拘束を、節点バネ拘束に変換して設定する機能が追加されました。

■埋め込み鉄筋要素(ETRUSSE 要素)作成時に、同時に断面積を設定できるようになりました。

■色の変更で、色の選択をドロップダウンリストから一覧表示での選択に変更しました。

■スナップショットのファイルの出力先をワークフォルダからデータフォルダに変更しました。

ファイルメニュー

－スナップショット－BMP/EMF/PNG/WMF

- ・ファイル出力先フォルダをワークフォルダからデータフォルダに変更しました。

－環境設定－ディレクトリ

- ・フォルダ参照ボタンが一つだったのをデータ／ワークそれぞれに用意しました。

－環境設定－カスタム

- ・アンドウ回数の指定が追加されました。

生成メニュー

－ブロック－埋め込み鉄筋要素

- ・断面積の設定が追加されました。

条件メニュー

－拘束－エリアバネ拘束(NEW!)

- ・要素面を対象とする分布バネを指定した方向への節点バネ拘束にする機能が追加されました。

－梁オプション－解除

－梁オプション－位置指定

- ・設定位置の指定に構造物全体が追加されました。

表示メニュー

－描画－選択

- ・番号で対象を選択した場合、選択対象に番号表示だけでなく、エコーも表示するようになりました。

特別メニュー

－元に戻す

- ・元に戻す項目が表示されるようになりました。

－やり直す(NEW!)

- ・元に戻す(アンドゥ)をやり直す(リドゥ)の機能が追加されました。

－色の変更

- ・変更する色を一覧表示から選択するようになりました。

－表から入力－埋め込み鉄筋要素

- ・断面積の設定が追加されました(項目の並びに断面積 A が追加されました)。

その他

■生成ツールバーに表面ブロック生成ボタンが追加されました。

■その他ツールバー／ToolBox にやり直す(リドゥ)ボタンが追加されました。

■上記修正に伴うコマンドにパラメータを追加/変更しました。詳細はオンラインヘルプをご覧ください。

- ・ETRUS 要素生成コマンド TMAK-ELEM
- ・分布バネ拘束コマンド BOUN-DCAL(NEW!)/BOUN-OPER(NEW!)
- ・アンドゥコマンド UNDO

【FEMOS】

■複数回アンドゥ・リドゥの機能が追加されました。

- ツールバー／ToolBox のボタンにマウスカーソルを合わせるとアンドゥ・リドゥされる項目が表示されます。
- アンドゥ・リドゥのメニューにもアンドゥ・リドゥされる項目は表示されます。
- アンドゥ・リドゥの回数はユーザーが自由に設定できます。(デフォルトは 10 回)

■複数ケースモデルで、単一ケース指定の読み込みが高速化されました。

■アニメーション作成処理が高速化されました。

■単一ケース選択の成分指定に、指定した成分の「絶対値が最大／絶対値が最小／値が最大／値が最小」で選択できる機能が追加されました。

■単一／複数ケース選択に、要素名指定の機能が追加されました。

- 選択されたケース番号の、指定された要素名の要素だけを処理対象とします。

■色の変更で、色の選択をドロップダウンリストから一覧表示での選択に変更しました。

■グループで、属している要素が 0(解析で削除される HEAT 要素)のグループは表示されないようになりました。

ファイルメニュー

－スナップショット－BMP/EMF/PNG/WMF

- ・ファイル出力先フォルダをワークフォルダからデータフォルダに変更しました。

－環境設定－ディレクトリ

- ・フォルダ参照ボタンが一つだったのをデータ／ワークそれぞれに用意しました。

－環境設定－カスタム

- ・アンドゥ回数の指定が追加されました。

選択メニュー

－単一ケース

- ・複数ケースモデルでの読み込みが高速化されました。
- ・成分指定時、以下の条件で選択できるようになりました。

- 指定した成分の絶対値が最大となるケース
- 指定した成分の絶対値が最小となるケース
- 指定した成分の値が最大となるケース
- 指定した成分の値が最小となるケース

- ・要素名を指定する機能が追加されました。

－複数ケース

- ・要素名を指定する機能が追加されました。
- ・全ケース読み込みの処理が高速化されました。

－スライス面－選択

- ・属している要素数が 0 のグループ(HEAT 要素のグループ)をグループリストに表示しないようにしました。

結果メニュー

－最大・最小ケース要素色分け

- ・ケース番号を表示しない指定が追加されました。

－サークル図

－数値図

－ベクトル図

- ・オプションの「レベル表示しない」チェックを廃止して、表示タイプの中から選択するように変更しました。

変更メニュー

－コンター/グラフレベル

- ・処理が高速化されました。
- ・進捗状況を示すプログレスバーを表示するようになりました。

－座標変換

－描画範囲選択

- ・属している要素数が 0 のグループ(HEAT 要素のグループ)をグループリストに表示しないようにしました。

グラフメニュー

－履歴

- ・対象を複数選択したときの処理が高速化されました。

表示メニュー

－描画－選択

- ・番号で対象を選択した場合、選択対象に番号表示だけでなく、エコーも表示するようになりました。

情報メニュー

－解析結果

- ・オプションの成分を指定してソートに、従来は降順だけでしたが、昇順も指定できるようにしました。

－モデル情報

- ・属している要素数が 0 のグループ(HEAT 要素のグループ)をグループリストに表示しないようにしました。

特別メニュー

－色の変更

- ・変更する色を一覧表示から選択するようになりました。

アニメーションメニュー

－作成ウィザード

- ・アニメーションデータ作成処理が高速化されました。
- ・描画選択で各描画のパラメータを指定できるようになりました。

その他

- その他ツールバー／ToolBox にやり直す(リドゥ)ボタンが追加されました。
- 上記修正に伴うコマンドにパラメータを追加/変更しました。詳細はオンラインヘルプをご覧ください。
 - ・最大・最小ケース要素色分け図描画コマンド CFIL
 - ・解析結果リスト出力コマンド LIST
 - ・ケース選択コマンド SELE
 - ・アンドゥコマンド UNDO

【LISA】

■CAP 解析機能が追加されました。

- 構造モデルを都合のいい面で切断(Cut)し、分断した構造ごとに独立してメッシュを作成、結合(Paste)したモデルを解析できる機能が追加されました。

■固有振動解析にランチョス法が追加されました。

- 大規模モデルで解析時間が大幅に短縮(約 1/3~1/4)されます。

ファイルメニュー

ー環境設定ーディレクトリ

- ・フォルダ参照ボタンが一つだったのをデータ/ワークそれぞれに用意しました。

構造解析メニュー

ーCAP 解析(NEW!)

- ・CAP 解析が追加されました。

解析パラメータメニュー

ー構造解析ー固有振動

- ・計算手法「サブスペース法/ランチョス法」の選択が追加されました。

ー構造解析ーCAP 解析(NEW!)

- ・CAP 解析のパラメータ設定が追加されました。

【FEMIST】

ファイルメニュー

ー環境設定ーディレクトリ

・フォルダ参照ボタンが一つだったのをデータ／ワークそれぞれに用意しました。

【FEMOST】

ファイルメニュー

ー環境設定ーディレクトリ

・フォルダ参照ボタンが一つだったのをデータ／ワークそれぞれに用意しました。

【IMPORT】

ファイルメニュー

ー環境設定ーディレクトリ

・フォルダ参照ボタンが一つだったのをデータ／ワークそれぞれに用意しました。

【LoadHelper】

ファイルメニュー

ー環境設定ーディレクトリ

・フォルダ参照ボタンが一つだったのをデータ／ワークそれぞれに用意しました。

【AddCase】

ファイルメニュー

ー環境設定ーディレクトリ

・フォルダ参照ボタンが一つだったのをデータ／ワークそれぞれに用意しました。

【その他】

■シートのキャプションバーに閉じるボタンがつけました。

■テンキーパッドのサイズを大きくしました。

以上